


日本史 B 問題

はじめに、これを読むこと。

(注意事項)

1. これは日本史 B の問題である。解答用紙が出願時に選択した科目であるかどうか確認のうえ、解答すること。
2. この問題用紙は 19 ページある。ただし、ページ番号のない白紙はページ数に含まない。
3. 解答用紙の所定の欄に、必ず氏名を記入すること。
4. 解答用紙には受験番号が印刷されているので、受験番号が正しいかどうか受験票と照合し確認すること。
5. 解答は、すべて「解答用紙」の解答欄に記入またはマークすること。解答欄以外のところには何も記入しないこと。
6. 解答は、必ず鉛筆またはシャープペンシル(いずれも HB・黒)で記入すること。
7. 訂正は消しゴムできれいに消し、消しくずを残さないこと。
8. 解答用紙は絶対に汚したり折り曲げたりしないこと。
9. 文字は一点一画まで正確に書くこと。
10. 解答用紙は持ちかえらないこと。
11. この問題用紙は必ず持ちかえること。
12. 試験時間は 60 分である。
13. マークの記入例

良い例	悪い例
	

〔 I 〕 次の史料 A・B を読み、以下の設問に答えなさい。なお、適宜、表記を改めた。

史料 A

朕(注1)、祖宗(注2)ノ遺烈ヲ承ケ、万世一系ノ帝位ヲ踐ミ、朕カ親愛スル所ノ臣民ハ、即チ朕カ祖宗ノ惠撫慈養シタマヒシ所ノ臣民ナルヲ念ヒ、其ノ康福ヲ増進シ、其ノ懿徳良能ヲ發達セシメムコトヲ願ヒ、又其ノ翼賛ニ依リ、与ニ俱ニ国家ノ進運ヲ扶持セムコトヲ望ミ、乃チ明治十四年十月十二日ノ詔命ヲ履踐(注3)シ、茲ニ大憲ヲ制定シ、朕カ率由(注4)スル所ヲ示シ、朕カ後嗣(注5)及臣民及臣民ノ子孫タル者ヲシテ永遠ニ循行(注6)スル所ヲ知ラシム。

国家 ノ大権ハ、朕カ之ヲ祖宗ニ承ケテ之ヲ子孫ニ伝フル所ナリ。朕及朕カ子孫ハ、将来此ノ憲法ノ条章ニ循ヒ之ヲ行フコトヲ愆ラサルヘシ。

朕ハ、我カ臣民ノ権利及財産ノ安全ヲ貴重シ、及之ヲ保護シ、此ノ憲法及 ノ範囲内ニ於テ、其ノ享有ヲ完全ナラシムヘキコトヲ宣言ス。

帝国議會ハ明治二十三年ヲ以テ之ヲ召集シ、議會開会ノ時ヲ以テ此ノ憲法ヲシテ有効ナラシムルノ期トスヘシ。

将来若此ノ憲法ノ或ル条章ヲ改定スルノ必要ナル時宜ヲ見ルニ至ラハ、朕及朕カ継統ノ子孫ハ、發議ノ権ヲ執リ之ヲ議會ニ付シ、議會ハ、此ノ憲法ニ定メタル要件ニ依リ之ヲ議決スルノ外、朕カ子孫及臣民ハ、敢テ之カ紛更ヲ試ミルコトヲ得サルヘシ。

朕カ在廷ノ大臣ハ、朕カ為ニ此ノ憲法ヲ施行スルノ責ニ任スヘク、朕カ現在及将来ノ臣民ハ、此ノ憲法ニ対シ永遠ニ従順ノ義務ヲ負フヘシ。

(以下略)

(注1)朕：天皇の自称。

(注2)祖宗：天皇の祖先神と歴代天皇。皇祖皇宗と同じ。

(注3)履踐：実行する。

(注4)率由：尊重して従う。

(注5)後嗣：後継ぎ。

(注6) 循行：命令に従って行う。

(出典：『法令全書』)

史料B

恭しく^{おもん}惟みるに、わが国体は、天孫降臨の際下し賜へる御神勅に依り明示せらるゝ所にして、万世一系の天皇国を [1] し給ひ、宝祚の隆は天地と与に窮なし。されば憲法発布の御上諭に「国家 [1] ノ大権ハ之ヲ祖宗ニ承ケテ之ヲ子孫ニ伝フル所ナリ」(注7)と宣ひ憲法^{のたま}第一条には「大日本帝国ハ万世一系ノ天皇之ヲ [1] ス」と明示し給ふ。即ち大日本帝国 [1] の大権は^{げん}儼として天皇に存すること明かなり。若し夫れ [1] 権が天皇に存せずして天皇は之を行使する為の [3] なりと為すが如きは是れ全く万邦無比なる我が国体の本義を^{げん}愆るものなり。

近時憲法学説を^{かんれん}繞り国体の本義^{とかく}に^{まこと}關聯して^た兎角の論議を見るに至れるは^{いよいよ}寔に遺憾に堪へず。政府は愈々国体の [4] に力^{いた}を効し其の精華を^{げん}発揚せんことを期す。乃ち茲に意の在る所を述べて広く各方面の協力を要望す。

(注7) 括弧内と史料Aは相違があるが、出典通りとした。

(出典：『現代史資料(4) 国家主義運動(一)』)

問 1 史料Aは大日本帝国憲法の上諭であり、天皇が自らの約束を実行して憲法を制定したと説明している。その約束である下線部(ア)は何を指すか。適切な語句を解答欄に書きなさい。

問 2 史料Aは、天皇の政治権力が憲法によって制限を受けることを示している。その点に注意して、空欄 [1] に入る適切な語句を漢字で解答欄に書きなさい。なお、史料Bの空欄 [1] にも、全て同じ語句が入る。

問 3 史料Aは、大日本帝国憲法が臣民の権利を制限付きで保障することを示している。その点に注意して、空欄 に入る適切な語句を漢字で解答欄に書きなさい。

問 4 史料Aの下線部(イ)に関連して、予想される帝国議会への政党の進出に備えて明治政府がとった態度は何と呼ばれているか。適切な語句を漢字で解答欄に書きなさい。

問 5 史料Aの下線部(ウ)に関連して、大日本帝国憲法第73条には憲法改正手続きが規定されているが、この規定が適用された唯一の事例は日本国憲法の制定である。その点に注意しながら、日本国憲法の制定過程について、解答欄に80字以内で書きなさい。

問 6 史料Bは、大日本帝国憲法に関するある憲法学説が「国体」に反するとして攻撃された際に、政府が出した声明である。史料Bに見られる「国体」の観念が成立するうえで重要な役割を果たした会沢安(正志斎)の著書(1825年執筆)は何か。書名を漢字で解答欄に書きなさい。

問 7 史料Bのような「国体」の観念が憲法に盛り込まれたことと関連して、憲法草案の審議の際に、「皇室」を「国家の機軸」とするべきだと主張した枢密院議長は誰か。その人物の姓名を漢字で解答欄に書きなさい。

問 8 史料Bの空欄 に入る適切な語句を漢字で解答欄に書きなさい。

問 9 史料Bの空欄 に入る適切な語句を漢字で解答欄に書きなさい。

問10 史料Bで批判されている憲法学説は、政党政治・政党内閣を支える理論的支柱であったが、右翼や軍部の攻撃を受けていた。史料Bの声明が出された1935年に衆議院の多数を占めていた政党は、右翼や軍部の動きに便乗して内閣を打倒しようとした。その政党の名称を漢字で解答欄に書きなさい。

〔Ⅱ〕 次の文章を読み、以下の設問に答えなさい。

日本における産業近代化の起点ないし土壌としては、江戸時代・天保期ごろから見られた資本主義的なマニュファクチュア(工場制手工業)の萌芽的展開や、幕末の雄藩による西洋式工業の導入がしばしば挙げられる。前者に関しては、大坂周辺や尾張の 1 業、および桐生や足利などの 2 業がそうしたマニュファクチュアの展開を見た代表的産業として有名であり、また後者については、鹿児島・薩摩藩による紡績工場の建設や、佐賀・肥前藩による大砲製造所の設立がその代表例とされる。^(ア)

明治維新を経て、産業の近代化・発展の速度はよりいっそう増すことになる。明治政府は富国強兵を目指して殖産興業を推し進めた。その際、まずとくに力が注がれたのは輸送・通信網の整備であった。鉄道の敷設、造船所の経営、海運業の保護などが政府によって行われ、^(イ)郵便制度の整備や電信線の敷設などが進められた。また、外貨獲得のための輸出向け産業の生産拡大にも力が入れられた。群馬県の官営富岡製糸場における生糸の生産はまさにその代表例である。

^(ウ)1880年代から90年代にかけて、日本における産業の発展は新たな段階に入る。官営事業払下げや、金利の低下、株式取引の活発化、日清戦争勝利などを背景に、民間の企業が、繊維産業、鉄道業、鉱山業などを中心に勃興した。繊維産業では、とくに綿紡績業の発展が目覚ましく、大阪などを中心に会社の設立が相次ぎ、その多くでは輸入した紡績機や蒸気機関を用いた機械制生産が行われた。^(エ)また、鉄道業については、日本鉄道会社や山陽鉄道・九州鉄道といった民営鉄道が設立され、^(オ)その営業キロ数を著しく伸ばした。鉱山業では、三井・三菱(岩崎)・古河などの政商が官営事業払下げを受けてこれを営むようになるとともに、^(カ)巻上機や排水用蒸気ポンプの導入など、鉱山業の近代化が進んだ。しかし、以上のような産業の発展の基礎となる鉄鋼や機械などの生産財の生産については、この時期の日本は未だ立ち遅れた状況にあり、その多くを輸入に頼っていた。

そうした状況は、19世紀末から20世紀初頭に変化する。鉄鋼業については、日清戦争の賠償金の一部を投入するかたちで官営の八幡製鉄所が設立され、^(キ)日露戦争のころにはその生産を軌道に乗せた。また、日露戦争後には、政府の保護の

もとで民間の製鋼会社の設立も進んだ。日本製鋼所はその代表的な企業である。
 また機械製造に関しては、池貝鉄工所が先進国なみの精度を持つ工作機械の製造
 に成功する。かくしてこの時期、日本の産業は、消費財生産から生産財生産に至
 る多くの部門で近代化を遂げ、著しい飛躍を見せた。しかし、そうした産業・経
 済の発展は、原料や食料の輸入を増大させ、またそれまでの外債の利払いも加わ
 り、日本の国際収支はむしろ危機的な状況に追い込まれることになる。

問 1 空欄 と に入る語の組み合わせとして正しいものはど
 れか。A～Eから一つ選び、解答欄にマークしなさい。

- | | |
|--------|------|
| A 製鉄 | 窯 |
| B 家具製造 | 絹織物 |
| C 絹織物 | 製鉄 |
| D 綿織物 | 絹織物 |
| E 製鉄 | 家具製造 |

問 2 下線部(ア)をイギリス人技師の指導のもとに推し進めた際の薩摩藩主はだれ
 か。A～Eから一つ選び、解答欄にマークしなさい。

- | | | |
|--------|------------|--------|
| A 島津久光 | B 島津忠義(茂久) | C 島津斉彬 |
| D 島津斉興 | E 島津重豪 | |

問 3 下線部(イ)に関する説明として正しいのはどれか。A～Eから一つ選び、解答欄にマークしなさい。

- A 内務省が中心となり 1872(明治5)年に新橋・横浜間の鉄道が敷設された。
- B 長州藩出身の岩崎弥太郎が経営する三菱(郵便汽船三菱会社)に手厚い保護を与えた。
- C 有事の際に軍事輸送を担わせることが、政府による海運業保護の一つの目的であった。
- D 旧幕府が設けた兵庫造船所の拡充を行った。
- E 旧藩営の横須賀造船所を接收し、官営事業として経営した。

問 4 下線部(ウ)の設立・操業に際して、技術指導などを中心にとくに大きな関係ないし影響を持ったとされる国はどこか。A～Eから一つ選び、解答欄にマークしなさい。

- A イギリス
- B アメリカ
- C イタリア
- D オランダ
- E フランス

問 5 下線部(エ)が相次いだきっかけの一つとして、大阪紡績会社の設立がしばしば挙げられる。同社設立を主導した渋沢栄一が中心的役割を担って実現した出来事として正しいのはどれか。A～Eから一つ選び、解答欄にマークしなさい。

- A 関西貿易社設立
- B 帝国ホテル開業
- C 大阪商法会議所設立
- D 鉄鋼研究所設立
- E 女子英学塾設立

問 6 下線部(㉔)に関する説明として誤っているのはどれか。A～Eから一つ選び、解答欄にマークしなさい。

- A 日本鉄道会社は華族を主たる出資者として 1881(明治 14)年に設立された。
- B 日本鉄道会社は 1891(明治 24)年に上野・青森間を全通させた。
- C 官営の東海道線(東京・神戸間)が全通した年に、営業キロ数で民営が官営を上回った。
- D 日露戦争の前に青森・下関間が連絡された。
- E 日露戦争の後、第二次桂太郎内閣が鉄道国有法を公布し、多くの民営鉄道が国有化された。

問 7 下線部(㉕)に関して、古河が払下げ先となった鉱山はどれか。A～Eから一つ選び、解答欄にマークしなさい。

- A 院内銀山 B 佐渡金山 C 三池炭鉱
- D 生野銀山 E 高島炭鉱

問 8 下線部(㉖)の設立・操業に際して、技術指導などを中心にとくに大きな関係ないし影響を持ったとされる国はどこか。A～Eから一つ選び、解答欄にマークしなさい。

- A フランス B イギリス C ベルギー
- D ドイツ E イタリア

問 9 下線部(㉗)の設立・操業に際して、出資などを中心にとくに大きな関係ないし影響を持ったとされる国はどこか。A～Eから一つ選び、解答欄にマークしなさい。

- A アメリカ B イギリス C ドイツ
- D ベルギー E オランダ

問10 下線部(ケ)に関連して、1885(明治18)年当時と比べた1913(大正2)年時点における日本の輸出入額についての説明として正しいのはどれか。A～Eから一つ選び、解答欄にマークしなさい。

- A 輸出に占める生糸の割合が増加した。
- B 輸出は約6倍増加し、輸入は約11倍増加した。
- C 輸入に占める鉄類の割合は減少した。
- D 輸出に占める綿織物の割合は減少した。
- E 輸出は約17倍増加し、輸入は約25倍増加した。

〔Ⅲ〕 次の文章を読み、以下の設問に答えなさい。

1930年代半ば以降、軍部、とくに陸軍の発言力は一段と大きくなっていった。1936年の二・二六事件^(ア)後に成立した広田弘毅内閣のもと、大規模な軍備拡張が進められ、財政は軍事支出を中心に急激に膨張し、軍需物資の輸入増大により、国際収支は悪化した。日中戦争が始まると、軍需生産を優先するため政府は直接的な経済の国家統制に乗り出し、総力戦に対応できる戦時経済体制の実現を目指して種々の法律^(イ)を矢継ぎ早に公布した。こうして、統制経済^(ウ)が確立されていくなかで、高級衣料、装飾品などのぜいたく品はもちろん、民需品の製造・販売も厳しく制限され、国民生活の戦時色は否応なしに強められた。

国家主義的気運が高まるとともに、国体論^(エ)にもとづく思想統制がはかられ、学問の世界でも思想・言論活動に対する弾圧が厳しさを増した。政府は軍国主義を鼓吹し、国体観念の国民への浸透を促すとともに、来るべき総力戦の遂行に備えて、労働者と資本家が丸となった戦争協力体制の構築に力を注いだ。1940年に結成された大政翼賛会は、官製の上意下達機関としてさまざまな団体をその傘下^(オ)に収め、国民を戦争遂行へと動員するうえで大きな役割を果たした。

太平洋戦争の開戦後、政府は軍需生産最優先政策をとる一方、青壮年男性を大量に兵士として徴兵した。そのため、国内の労働力は不足し、また戦局の悪化^(カ)により南方からの海上輸送も困難となったので、軍需生産に不可欠の鉄鉱石・石炭・石油などの物資も欠乏した。本土空襲が始まると、東京をはじめとして多くの大都市は大きな被害を受けた。軍部は「聖戦完遂」を最後まで訴えたが、国民の戦意は次第に失われ、厭戦気分が漂い始めた。

1945年、日本はポツダム宣言を受諾し、降伏文書の調印^(キ)を経てGHQの間接統治下におかれた。敗戦直後、臨時軍事費の大量支払いや日本銀行の対民間貸出しの増加などによって通貨が増発されたため、猛烈なインフレーションが発生した。

1

内閣はこれに対処するため新円を発行し、旧円の預金を封鎖して新円の引き出し額を一定額とし、通貨量の縮減をはかったが、効果は一時的であった。次の内閣の大蔵大臣に就任した

2

は、大胆に資金を散布して生産を刺激するべきだと考え、復興金融金庫(復金)を創設して電力・海運などの基幹

産業に資金を供給し始めた。この政策は設備復興に貢献したが、一方では復金インフレを誘発した。

1948年以降、東西の冷戦を反映してGHQの占領政策の目的は、非軍事化から日本経済の復興・自立化へと転換していく。 3 大統領の特使として来日したドッジの要求にしたがって、政府は超均衡予算の編成と財政支出の削減を行い、1ドル = 4 円の単一為替レートを設定して日本経済を国際経済に結びつけ、国際競争のなかで輸出を拡大しようとした。これにより、インフレは収束したが、反面、デフレが進行し、日本は「安定恐慌」と呼ばれる深刻な不況におちいった。

こうしたなかで1950年に勃発した朝鮮戦争は、不況にあえぐ日本経済に再生の機会を与えた。朝鮮特需で鉱工業生産は戦前水準を回復し、輸出増加により外貨不足も緩和された。1955年から72年の日本の年平均経済成長率は10%を上回り^(ク)、この間1968年には資本主義諸国のなかでアメリカにつぐ世界第2位の国民総生産を実現した。個人所得の増大にともなって、電気器具や自動車などの耐久消費財の保持、生活水準の向上が一般化し、いわゆる大衆消費社会が形成された。

問1 下線部(ア)に関して、この事件を起こした青年将校たちに大きな思想的影響を与えた北一輝とともに事件の黒幕とされ、死刑になった人物はどれか。A～Eから一つ選び、解答欄にマークしなさい。

- | | | |
|--------|--------|---------|
| A 荒木貞夫 | B 永田鉄山 | C 真崎甚三郎 |
| D 西田税 | E 宇垣一成 | |

問2 下線部(イ)に関して、第1次近衛内閣によって公布された法律ではないものはどれか。A～Eから一つ選び、解答欄にマークしなさい。

- | | |
|-----------|--------------|
| A 電力国家管理法 | B 輸出入品等臨時措置法 |
| C 重要産業統制法 | D 国家総動員法 |
| E 臨時資金調整法 | |

問 3 下線部(ウ)に関して、戦争遂行のための物資動員を計画し、「経済の参謀本部」とも呼ばれた、統制経済の中心的な機関はどれか。A～Eから一つ選び、解答欄にマークしなさい。

- A 軍需省 B 商工省 C 大東亜省
D 資源局 E 企画院

問 4 下線部(エ)に関して、この時期の思想統制・言論弾圧に関する説明として誤っているものはどれか。A～Eから一つ選び、解答欄にマークしなさい。

- A 文部省は『国体の本義』を発行し、国民に対して国体の尊厳と君臣の大義を説き、日本を天皇中心の家族国家とする運命共同体論を唱道した。
B 津田左右吉の日本古代史に関する実証的研究が、皇室の尊厳を傷つけるものとして批判され、『神代史の研究』などの著書が発禁となった。
C 政府の植民地政策を批判していた東大教授の矢内原忠雄が右翼から反戦思想として攻撃され、辞職を余儀なくされた。
D 自由主義経済学者の河合栄治郎が軍部や政府の政策を批判した著書が発禁とされたうえで、東大教授を休職処分となり、起訴された。
E 大内兵衛、有沢広巳、西田幾多郎らの東大教授グループが、人民戦線の結成をはかって政府に反対したとして治安維持法で検挙された。

問 5 下線部(オ)に関して、大政翼賛会の傘下になかった団体はどれか。A～Eから一つ選び、解答欄にマークしなさい。

- A 大日本翼賛壮年団 B 大日本青少年団 C 大日本婦人会
D 大日本産業報国会 E 大日本労働総同盟友愛会

問 6 下線部(カ)に関して、戦争遂行上「絶対確保すべき圏域」として御前会議で決定されたのが絶対国防圏である。この圏内での出来事として正しいものはどれか。A～Eから一つ選び、解答欄にマークしなさい。

- A ガダルカナル島撤退 B サイパン島陥落 C アッツ島の玉砕
D ミッドウェー海戦 E マキン・タラワ島陥落

問 7 下線部(キ)に関して、日本国政府代表として降伏文書に調印したのはどれか。A～Eから一つ選び、解答欄にマークしなさい。

- A 東郷茂徳 B 鈴木貫太郎 C 重光葵
D 梅津美治郎 E 米内光政

問 8 空欄 と空欄 に入る人名の組み合わせとして正しいものはどれか。A～Eから一つ選び、解答欄にマークしなさい。

- | | |
|--------------------------------|--------------------------------|
| <input type="text" value="1"/> | <input type="text" value="2"/> |
| A 幣原喜重郎 | 渋沢敬三 |
| B 幣原喜重郎 | 石橋湛山 |
| C 吉田茂 | 渋沢敬三 |
| D 吉田茂 | 石橋湛山 |
| E 東久邇宮稔彦 | 渋沢敬三 |

問 9 空欄 と空欄 に入る人名と数字の組み合わせとして正しいものはどれか。A～Eから一つ選び、解答欄にマークしなさい。

- | | |
|--------------------------------|--------------------------------|
| <input type="text" value="3"/> | <input type="text" value="4"/> |
| A トルーマン | 360 |
| B トルーマン | 240 |
| C アイゼンハワー | 360 |
| D アイゼンハワー | 240 |
| E ローゼンヴェルト | 240 |

問10 下線部(ク)に関して、1958年から61年の好景気を「岩戸景気」という。この時期の出来事ではない事項はどれか。A～Eから一つ選び、解答欄にマークしなさい。

A 民主社会党の結成

B 所得倍増計画の決定

C 浅沼稻次郎の暗殺

D 第五福竜丸事件

E 日米新安全保障条約の調印

〔IV〕 次の文章を読み、以下の設問に答えなさい。

喫茶の歴史は古い。日本における茶の栽培自体は最澄の生きた時代^(ア)にもすでに行われていたとされる。茶の栽培は遣唐使の停止で中絶したが、京都の の地に茶を植えた明恵の時代から、喫茶の風習が日本の社会に定着しはじめた。このころの茶とは抹茶であり、主に寺院において飲用された。武家・庶民の間でも、日本茶の発祥の地とされる 産の茶を本茶とし、他地域産の茶を非茶として飲み当てる闘茶の形などで親しまれていた。

寺院のなかでもとくに禅宗の寺院において飲用されたこともあり、喫茶には禅の思想や作法が取り込まれ、そうした喫茶の流儀は茶の湯と呼ばれるようになる。なかでも茶と禅の精神の統一を主張し、茶室における心の静けさを追求した 村田珠光の茶の湯は侘茶と呼ばれた。侘茶の流れをくむ茶の湯は、武野紹鷗を経^(ウ)て、千利休(宗易)によって完成される。そうした茶の湯は江戸時代の半ばごろから^(エ)茶道と呼ばれることが多くなったとされる。他方、同じころに煎茶が普及し、喫茶の風習はさらに一般的となった。

問 1 下線部(ア)の説明として誤っているのはどれか。A～Eから一つ選び、解答欄にマークしなさい。

- A 『凌雲集』や『文華秀麗集』といった勅撰漢詩集が編まれた。
- B 文芸を中心に国家隆盛をめざす文章経国の思想が広まった。
- C 空海が高野山に金剛峰寺を建立し真言宗をひらいた。
- D 三跡(蹟)とよばれる書の名手があらわれた。
- E 神仏習合の傾向が強まった。

問 2 空欄 に入る地名として正しいものはどれか。A～Eから一つ選び、解答欄にマークしなさい。

- A 大原
- B 東山
- C 梅尾
- D 宇治
- E 粟田

問 3 下線部(イ)が禅の精神を学ぶために参じた僧はだれか。A～Eから一つ選び、解答欄にマークしなさい。

- A 一休宗純 B 一山一寧 C 絶海中津
D 夢窓疎石 E 桂庵玄樹

問 4 下線部(ウ)は豪商であったが彼が主に商いを営んだ地はどこか。A～Eから一つ選び、解答欄にマークしなさい。

- A 淀 B 伏見 C 平野
D 堺 E 大坂

問 5 下線部(エ)の高弟で、1614(慶長 19)年にマニラに追放されたキリシタン大名はだれか。A～Eから一つ選び、解答欄にマークしなさい。

- A 古田織部 B 高山右近 C 小西行長
D 小堀遠州 E 細川忠興

〔V〕 次の文章を読み、以下の設問に答えなさい。

大坂の役ののち、江戸幕府は武家諸法度^(ア)を制定して諸大名を厳しく統制し、3代将軍家光のころまでに将軍と諸大名との主従関係が確立されていった。強大な領主権を持つ将軍(幕府)と大名(藩)が土地と人民を統治する幕藩体制のもとでは、身分秩序を基礎にして社会が成立しており、支配身分の中心にあった武士が軍事力を独占したうえで政治を担い、さまざまな身分的特権を持っていた。この時代、武士の学問や思想の源泉となっていたのは儒学であり、近世日本社会の変化に応じて多様な学説が生み出された。また、幕府や藩では、君臣、親子の別をわきまえて上下の身分を重んじる朱子学が積極的に受け入れられていった。^(イ)

4代将軍家綱以降になると、将軍と大名の関係は将軍優位に、大名と家臣の関係は大名優位に安定していった。儒教は幕府政治の基礎に据えられたが、藩政の安定と領内経済の発展がはかれるようになると、いくつかの藩でも儒学者を顧問として招き藩政の刷新が行われた。^(ウ)

11代将軍家斉のときに老中首座となった松平定信は、儒学のうち朱子学を正学とし、それ以外の学派を異学として聖堂学問所で教授することを禁止した。^(エ)この時期、幕府の改革の影響も受けながら、諸藩はそれぞれの事情に基づいて藩政の改革を試みた。その中で、新たな藩政を担う人材の育成に力が入れられ、藩校の設立やその拡充が多くの藩で行われた。^(オ)

その後、幕藩体制の行き詰まりと社会の変化によって、思想面に大きな影響がもたらされた。朱子学を軸に国学や神道を総合した水戸学などは尊王論を主張していたが、次第に、天皇を中心とする政治・宗教体制の構想へとつながり、幕末の尊王攘夷運動に強い影響を与えていった。

問 1 下線部(ア)の説明として誤っているものはどれか。A～Eから一つ選んで、解答欄にマークしなさい。

- A 7代家継と15代慶喜を除き、将軍の代替わりごとに法度が発布された。
- B 3代家光が発布した法度では、大名の参勤交代が義務付けられた。
- C 5代綱吉が発布した法度では、第一条が「文武弓馬の道，専ら相嗜むべき事」と改められた。
- D 4代家綱が発布した法度では、キリシタン禁止の条文が付け加えられた。
- E 最初の法度は、徳川家康の命で金地院崇伝らが起草し、伏見城で発布された。

問 2 下線部(イ)について、儒学者とその学問・学派の組み合わせとして誤っているものはどれか。A～Eから一つ選んで、解答欄にマークしなさい。

- A 山鹿素行 — 陽明学
- B 藤田幽谷 — 水戸学
- C 谷時中 — 南学
- D 林羅山 — 京学
- E 伊藤仁斎 — 古義学

問 3 下線部(ウ)について、次の記述のうち17世紀後半の事例でないものはどれか。A～Eから一つ選んで、解答欄にマークしなさい。

- A 米沢藩の上杉治憲は、細井平洲を招いて藩政改革を行った。
- B 水戸藩の徳川光圀は、朱舜水を招いて江戸の藩邸内に彰考館をおき、『大日本史』の編纂を始めた。
- C 岡山藩の池田光政は、熊沢蕃山を用いて藩学花鳥教場を設けた。
- D 加賀藩の前田綱紀は、木下順庵らの意見をいれて藩政に取り組んだ。
- E 会津藩の保科正之は、山崎闇斎に朱子学を学んだ。

問 4 下線部(エ)について、この施策を建言した儒学者は誰か。A～Eから一つ選んで、解答欄にマークしなさい。

- A 荻生徂徠 B 青木昆陽 C 太宰春台
D 林信篤 E 柴野栗山

問 5 下線部(オ)について、藩と藩校の組み合わせとして誤っているものはどれか。A～Eから一つ選んで、解答欄にマークしなさい。

- A 薩摩藩 — 造士館 B 会津藩 — 日新館
C 米沢藩 — 興讓館 D 福岡藩 — 時習館
E 長州藩 — 明倫館